

交通安全教育出前講座

「車社会」に出る 高校生の君たちへ・・・



一般社団法人 富山県損害保険代理業協会

保険とは

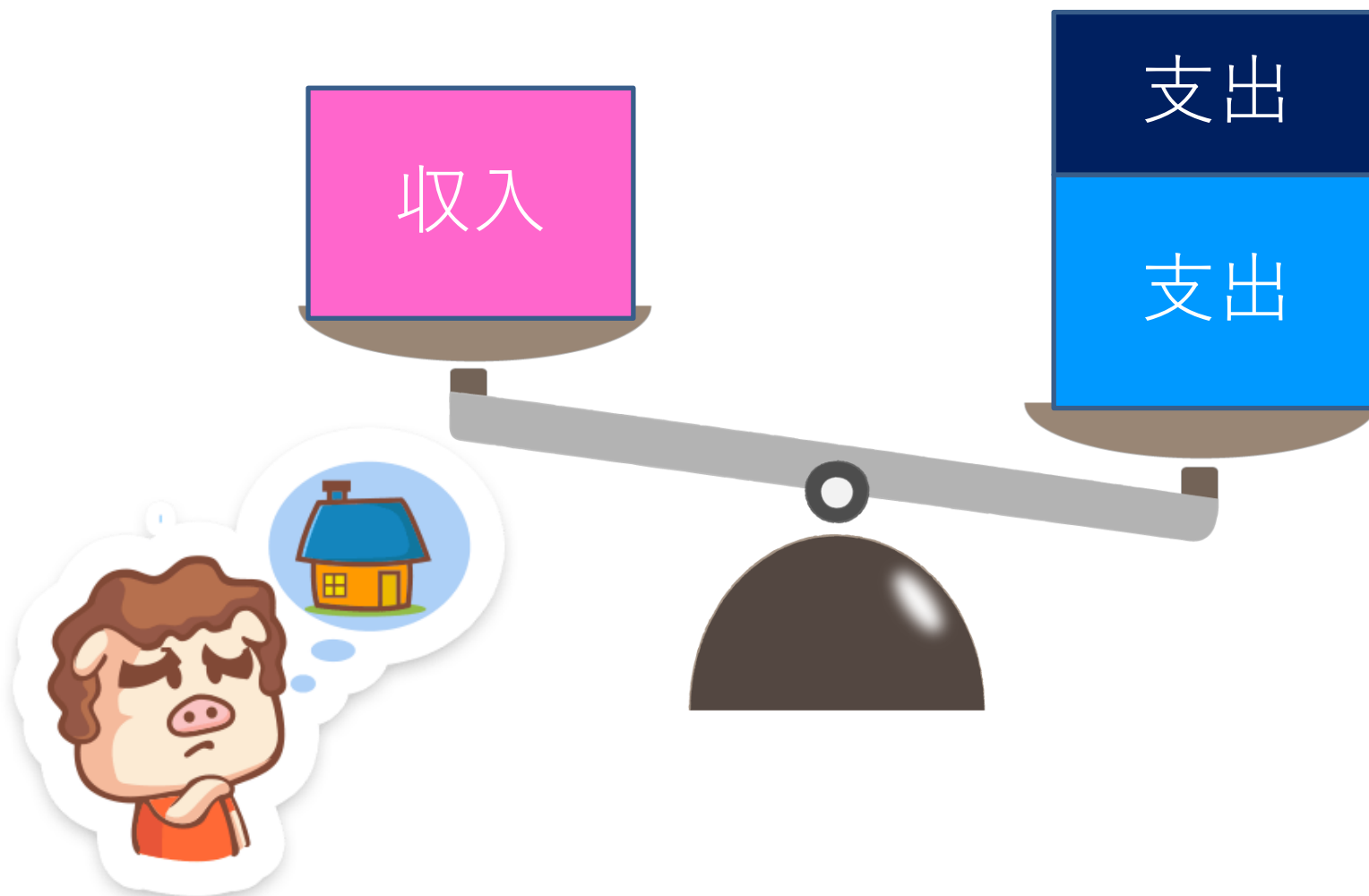
**「一人の災難を大勢が分かち、わずかの金を
捨てる大難を逃れる制度」**（福沢諭吉）

保険とは将来起こるかもしれない危険に対し、
予測される事故発生確率に見合った一定の保険料を加入者が公平に分担し、
万一の事故に対して備える相互扶助の精神から生まれた助け合いの制度で、
私たちを取りまくさまざまな事故や災害から生命や財産を守る為の最も合理的な
防衛策のひとつである。（日本損害保険代理業協会HPより）

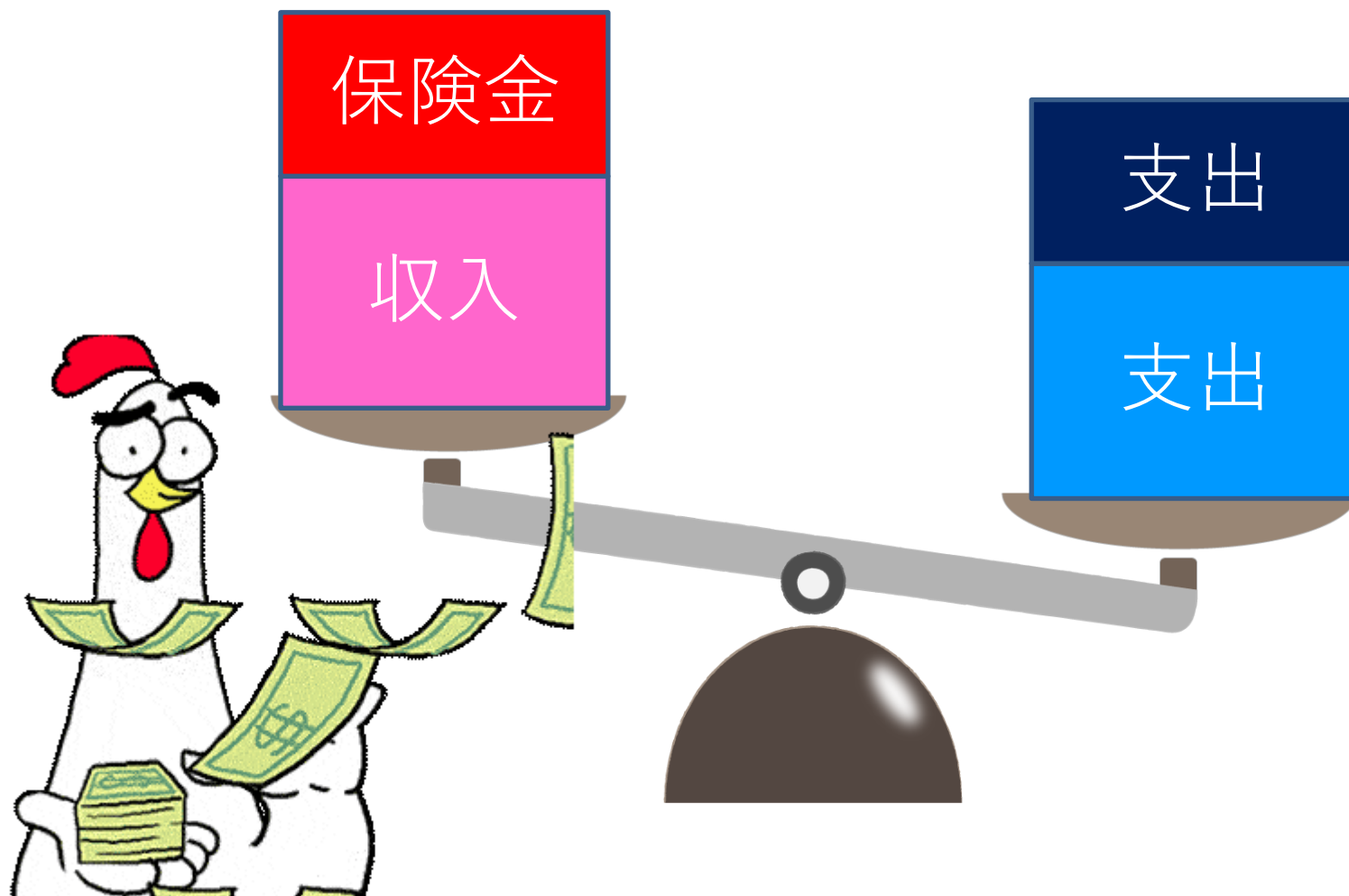
保険とは



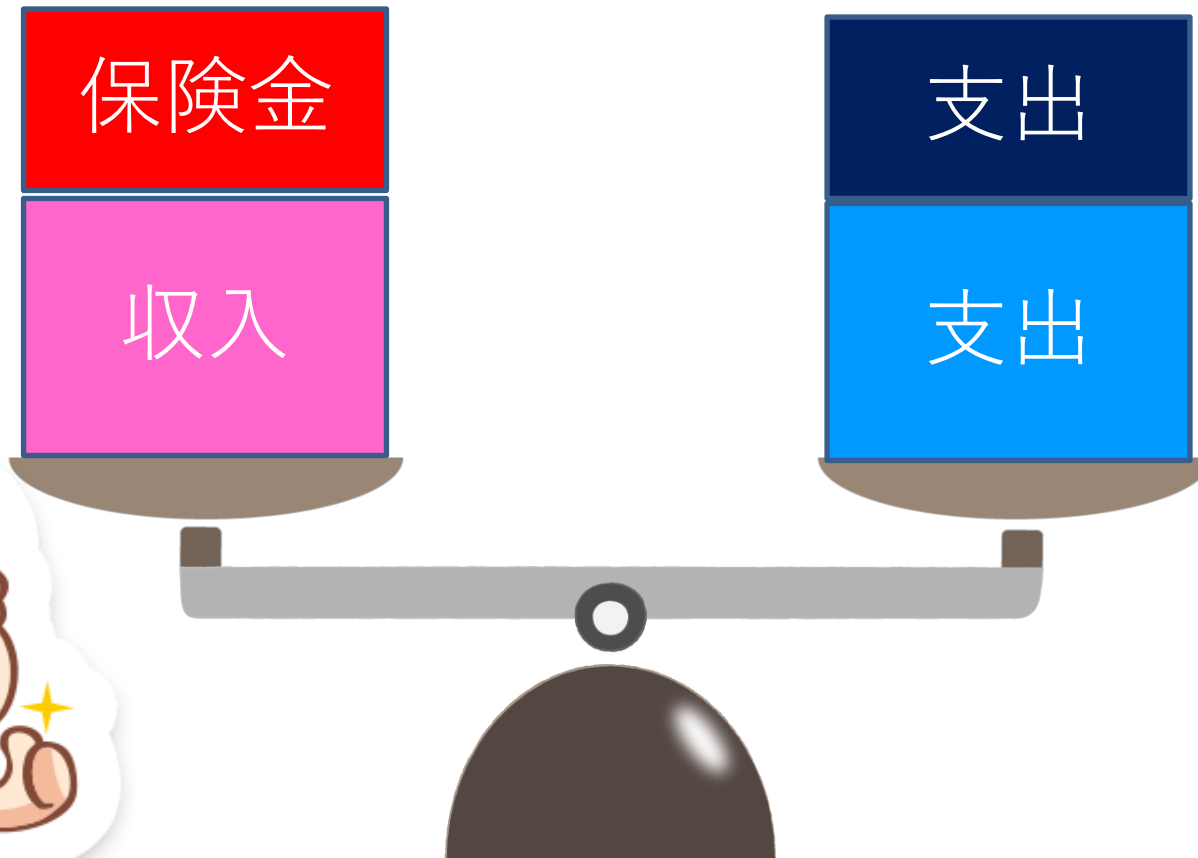
保険とは



保険とは



保険とは



思わず**2度見**する

交通事故動画12連発!

【リメイク版】



保険代理店の役割

消費者・保険契約者と保険会社のパイプ役となり、
消費者・保険契約者を様々な危険から守るべく最適な保険提案を行うこと。

また、万一災害や事故が発生した場合は、迅速かつ円満な解決を援助するなど広範
なコンサルティング活動を行うこと。



今日の内容

①事故の原因

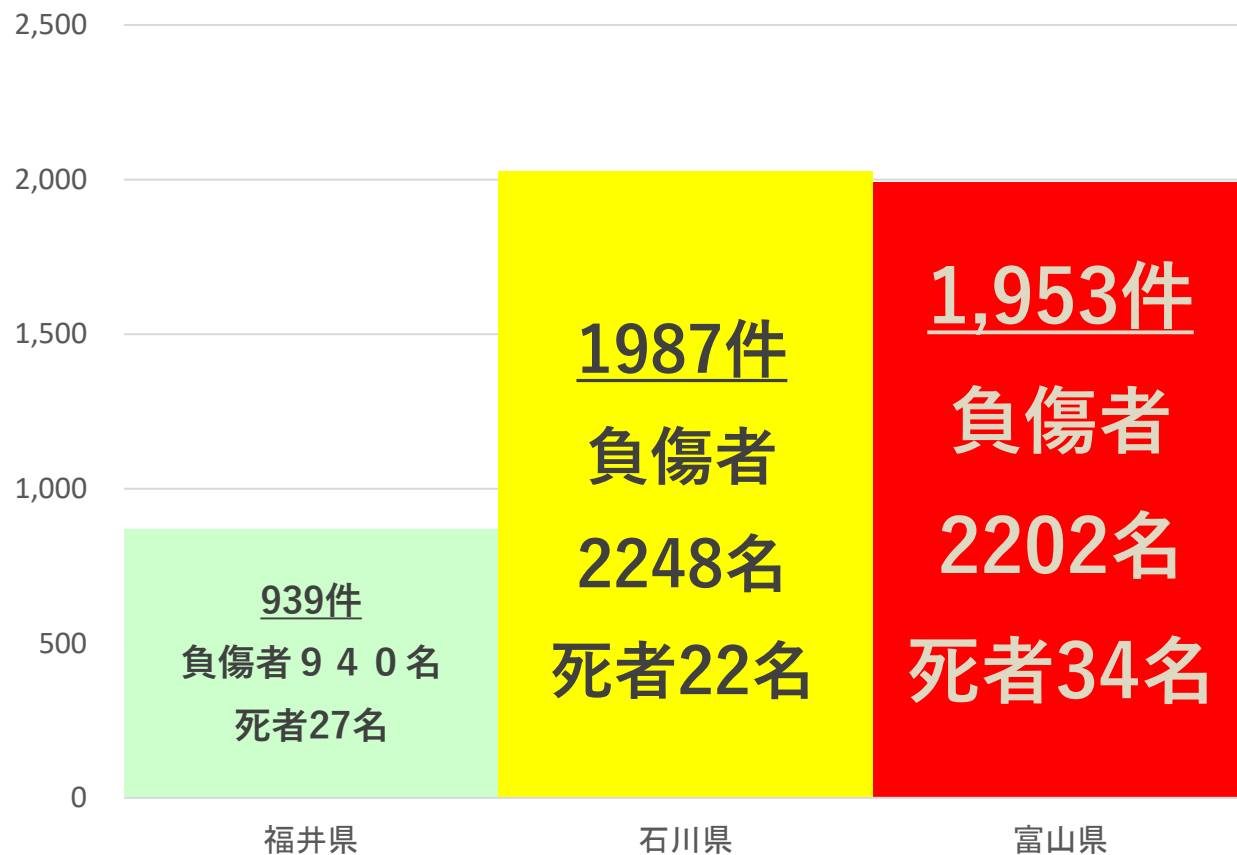
②事故現場ですべき事と責任

③自動車保険について

④自転車事故について

①事故の原因

富山県内の事故件数



①事故の原因

1:前方不注視 423件

2:安全不確認 299件

3:動静不注視 203件

4:指定場所一時不停止 11件

若者
1位

高齢者
1位

①事故の原因

空走距離 + 制動距離 = 停止距離

60Km/時で走行時

空走距離：17m（約1秒） 制動距離：27m

停止距離 = **44m** （運転免許学科試験より）

1秒の脇見は(44m+17m=) **61m**

10秒なら(44m+170m=) **214m**

①事故の原因

令和〇4年富山県警交通事故白書より

事故の多い時間

日没前後の薄暗い時間

事故の多い場所

交差点

事故の形態

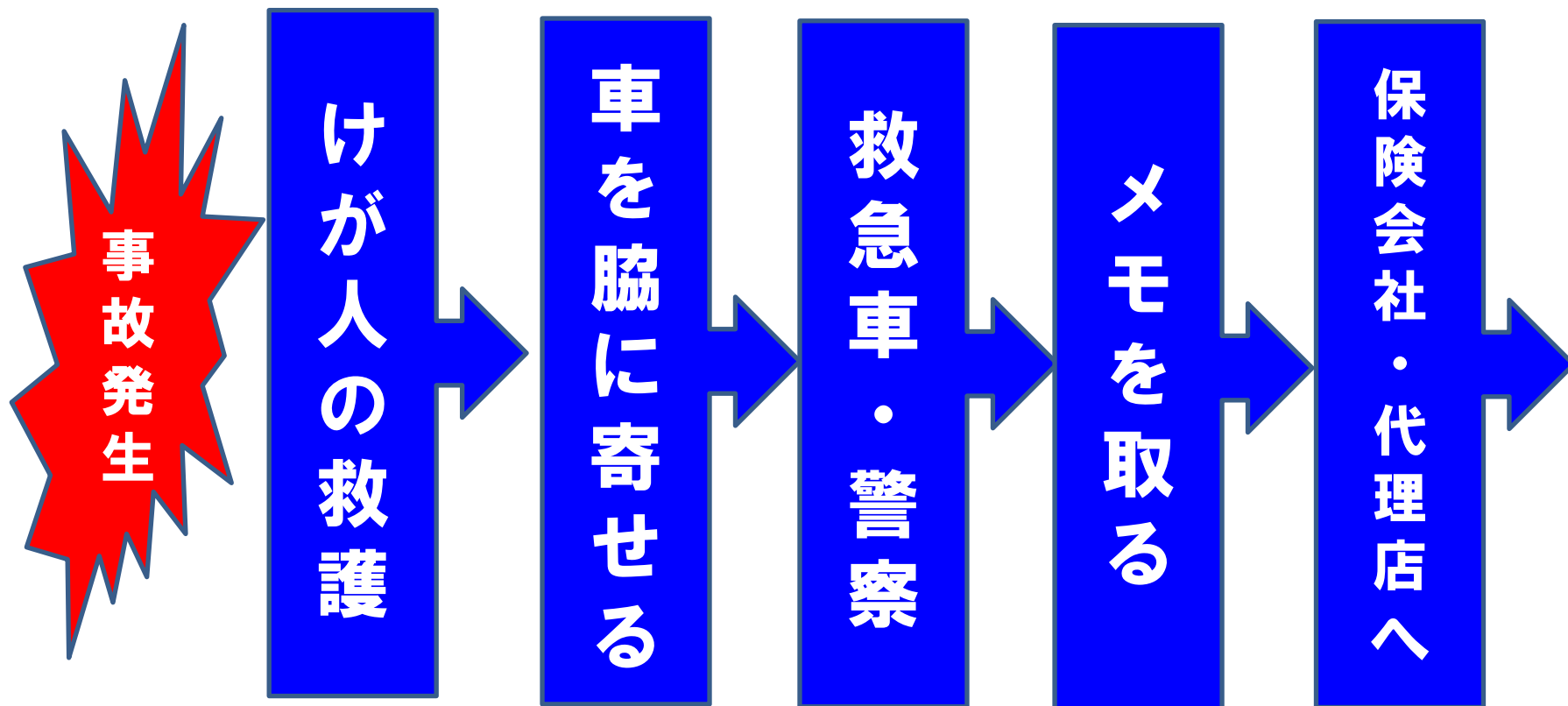
追突(280件)

出会い頭(490件)

【よくある事故ケース】

帰宅途中、自宅近くの通り慣れた道でスマホを見ながら運転していたら赤信号に気付かず、交差点手前で停車中の車に追突してしまった。

②事故現場ですべき事と責任



気を付ける事！！ ドラレコ！！活用しよう
絶対に現場で「示談」をしない！！！！

②事故現場ですべき事と責任

自動車保険

民事上の責任

損害を賠償する責任

刑事上の責任

自動車運転過失致傷罪等

行政上の責任

免許停止など

道義上の責任

謝罪する責任

③自動車保険について

みなさんが自動車に乗るためのチェック

自分の家の車が保険に入っているか？

自分が運転できる条件になっているか？

③自動車保険について

補償内容

対人賠償

対物賠償

人身傷害

車両保険

年齢条件

全年齢

21歳以上

26歳以上

35歳以上

運転者限定

限定なし

家族限定

本人・夫婦限定

ケース別賠償額 (対人事故と対物事故)

① 45歳 男性 (妻、子供2人)

死亡 : 6,346万円

後遺障害 : 9,471万円

② 17歳 男子高校生 (両親、兄弟1人)

死亡 : 5,473万円

後遺障害 : 1億226万円

(自賠償基準)

③ 自動車ディーラー店舗

約6,000万円 (展示車両、ショーウィンドウ等)

④ 踏切内列車衝突(車)

1億1,347万円 (平成10年千葉地裁)

④ 自転車事故について

交通事故件数の約1割が自転車関連事故

交差点内、交差点付近の事故が70.4%

「高校生」の「男性」が最も多くなっています。(傷者)

④ 自転車事故について

自転車は「歩行者の仲間」から「車の仲間」へ

H 2 7 年 6 月 罰則強化

「被害者」から「加害者」へ

自動車と同じ責任が課せられた

④ 自転車事故について

自転車の事故は

個人賠償責任保険(特約)

または

日常生活賠償保険(特約)

でカバーできます

最低でも1億は必要！

「示談交渉サービス」は必要！！

「手離した命」

この世で一番大切にしなければならない人を、僕は手離してしまった。

何て情けない男だろう…。

その日、夕方に仕事を終え、前日から泊まりに来ていた彼女と映画を見に行き、その後、少し距離はありましたが、知人の居酒屋に晩ご飯を食べに行きました。

二人ともお酒は好きな方なので、二人でご飯を食べに行って酒抜きということは決してありませんでした。

そして、どこに行くにも車で移動していました。午前2時前になり彼女も「帰ろう」と言い出したので、帰ることにしました。

そして、いつものように「これくらいの酔いなら大丈夫だろう」といい加減に考え、車を運転し始めました。

店を出てすぐ彼女は「気持ちが悪い」と言い、シートを倒して寝てしまいました。

僕は少しでも早く家に帰って、ゆっくり休ませてやりたいと思いながらハンドルを握っていました。

と次の瞬間、工事現場のガードレールに激突。私は居眠りをしてしまったのです。

ハッと思い横を見ると、助手席でシートを倒して寝ていた彼女がいません。

その代わりに白いガードレールが後部席の方へ伸びていました。

まさかと思い後部席を見ると彼女はガードレールで後部席に打ちつけられていました。

私は「何てことをしてしまったんだ」とある種の恐怖感を覚え、急いで救急車を呼びました。

その救急車での数分、彼女を呼びつづけましたが、何の返事もないままでした。

それは即死を意味していました。

私はといえば、左肩の打撲程度でほとんど無キズに近い状態でした。

その後、私はその場で逮捕され、翌日釈放されました。

最初、彼女のご両親やご兄弟に謝罪に行った時は「顔も見たくない」と追い返されましたが、2度目からは気持ちも落ち着いておられ、非常に寛大な態度で接してもらいました。

決して許すことができないはずなのに、

彼女のご両親は

「あなたにつらく当たっても娘は帰ってこないのだから」、

「娘が好きになった人だから」、

「あなたには娘の分までしっかり生きてちょうだい」

といったお言葉をいただいたり励ましてもらったりしました。

そして、事故を起こしてから約1年後、裁判が始まり、その2ヶ月後に懲役1年4月という実刑判決を受け、現在は市原刑務所で服役しています。

彼女のご両親に会いに行くたび、優しい言葉を掛けてくださったり、出所後の僕の生活を心配してくださったりして、とてもよくしてくださるのに、私は何もしてあげられません。

今はこの市原刑務所で受刑者としてしっかり反省し、今までのいい加減な気持ちをすべて捨て去ろうと努力しています。

そして1日でも早く出所できるよう遵守事項を守り、1日でも早く償いをしていきたいと思っています。

事故を起こして殺人者になり、私の兄も世間に対し負い目を感じていると思います。また、友人も同じ目に会っていると思います。

私のいい加減な気持がいったい何人の人に迷惑を掛けたか、また、いったい何人の人が悲しんだか、それを決して忘れることなく生きていきます。

私は殺人者なのです。前科者です。

人間が一番してはならないことをやってしまいました。それなのに、1年足らずで刑務所を出ます。

周りの人は「運が悪かったんだよ」といいますが、私は決してそうとは思いません。全て私のいい加減な気持が起こした事故の原因だと思っています。

自分の命で償えられるのなら簡単です。自分の命と引き換えに彼女が生き返るわけがないのです。

ならば、自分が彼女の分まで生きて、彼女のご両親に償いをしていくしかないのです。それが彼女に対するおわびであるのだと思っています。

誰も起こしたくない事故
原因を知り、対策を講じて欲しい
今日はそんな思いでお話ししました。

「車社会」では、
誰もが加害者になり、被害者になる
そんな可能性があります。

かけがえの無いみなさんの、人生が狂わないために
自動車保険・個人賠償責任保険は
ちゃんと確認して下さい

皆様の安全運転を、
そして、不幸な事故にあわれないことを…
心より祈っています

本日はご静聴ありがとうございました。